

2026 ブリヂストン鈴鹿 4 時間耐久ロードレース ライダーズブリーフィング資料

公式通知 No.3

2026/8/28
競技監督

1. 注意事項

- ① 走行中、ライダーは必ずライダー腕章を両腕上部に着用しなければならない。
【Rider BLUE】 … 青色
【Rider YELLOW】 … 黄色
【補欠ライダー】 … 赤色
- ② タイムテーブルは進行に伴い、時間が変更される場合があるので、**場内放送に注意**すること。
- ③ 走行には、ヘルメットリムーバーを着用し必ず車検時に申告したヘルメットを使用すること。
使用する予定のヘルメットは全て装備品申告書に記入し申告すること。
追加のヘルメットを使用する場合も事前に車検場に申告すること。
- ④ 転倒もしくは負傷したライダーは、迅速かつ的確なレスキュー活動の為に、
メディカルパスポートをいつでも提出できるよう準備しておくこと。
- ⑤ 予選通過基準タイムの対象は各ライダー個人のタイムとし、自身の所属するグループで**最も早いライダーのタイムの115%以内のタイムを計測していなければならない。**
- ⑥ 登録ライダーのうち1名でも、1.注意事項⑤に記載されたタイムを満たせない場合、そのチームは**決勝レースに出場できない。**

2. コースイン・ピットイン時の注意

- ① ピットアウトしてコースインするライダーは、**第2コーナーを通過するまでコース右端に沿って走行すること。**
コースインは各自の責任において行わなければならない、走行車両との合流に対し最大限の注意を払い、
後方から近づく車両の走行を妨げないように行うこと。
- ② ピットレーンよりトラックに合流する車両は、白線を越えて走行してはならない。※違反した場合はペナルティを科す。
- ③ ピットインする際は、**130R 手前より走行ラインをコース右端に取り、手を挙げるなどして後続に十分アピールし、安全を確認してピットインすること。**
- ④ ピットレーンの制限速度は、60 km/h とする。

3. 決勝レースについて

- ① 52 番ピット付近にて車両のスタート前チェックを行う。オフィシャルの指示に従ってチェックを受けること。
あわせて**ドライタイヤへのマーキングも行う。**スタート前チェックは時間厳守とし、必ずタイムテーブル、スタート進行表を確認し時間内に完了すること。完了していない場合、決勝レースへの**参加は認めない。**
- ② **サイティングラップからグリッドに戻ったライダーは、オフィシャルが赤旗 2 本を静止提示している場所で一旦停止しエンジンを切らなければならない。**その後各競技車両をライダーまたはチーム員が押し、歩いて指定グリッドに着くこと。
その際ライダーは降車または乗車のままグリッド位置まで移動しても良い。
- ③ サイティングラップ後、グリッド上においてタイヤウォーマーのためのジェネレーターを使用しても良い。
使用については MFJ 国内競技規則 付則 4 ロードレース競技規則 18-4-4 に準ずる。
※ジェネレーターを複数の車両のタイヤウォーマーに使用することは出来ない。
また、タイヤウォーマーにはそのマシンの為に持ち込まれたジェネレーターからのみ給電が許可される。
なお、ウォーマー以外の用途にジェネレーターを使用することは認められない。
ジェネレーターは競技車両 1 台につき 1 台とし、自身の車両の近くに設置すること。
- ④ 天候・その他状況に問題がなければ、**ル・マン式スタート方法**を用いる。

- ⑤競技車両は、ウォーミングアップ終了の時間とともにプラットホーム側のポジションに整列し、スタートライダーはスタート 1 分前までにグランドスタンド側の点（ドット）に整列すること。
- ⑥競技車両を支えるペアリダーも、ヘルメット・レーシングスーツ・ライディングブーツを着用すること。
エアバッグ装着補助員はピットクルーへ登録かつエアバッグ装着補助申請にて申請した 1 名であること。
エアバッグ装着補助員は、長袖・長ズボン・シューズ（すべて肌が見える物）および 2 輪用ヘルメット及び腕章を着用すること。
- ⑦スタート合図は、15 番グリッド付近での国旗の振り上げによって行なわれる。スタート合図があった後、ライダーはコースを横断して自分の車両に駆け寄りスタートする。スタート合図の国旗の振り上げまで、ライダーは白線上の点（ドット）から足を離すことは認められない。国旗の振り上げ前に点（ドット）から足が離れたチームは、ストップ&ゴーペナルティを科す。
（「STOP」の文字と車両ナンバーを付したボードがコントロールラインの 0 ポストと 14.5 番ポストにて掲示される。）
- ⑧ル・マン式スタートでは、特に上位グリッドのライダーは後方からの車両との衝突を避ける為に、スタート直後は極力コースの右側を走行すること。
- ⑨ペアリダーによる押しがけスタートは全車がスタートし「PUSH」ボードを提示したら許される。
提示箇所はコントロールラインのフラッグ台(OP)及びスタートラインのフラッグ台(0.5P)とする。
※エアバッグ装着補助員による押しがけは禁止。
- ⑩決勝スタート後、コンクリートウォールを超えられないペアリダーおよびエアバッグ装着補助員は、ストレートからの退出用にゲート（ル・マン式 8 番グリッド及び 35 番グリッド横）を開放する。速やかにゲートへ向かうこと。

4. 走行にあたっての注意事項

- ①レースおよび予選中にスロー走行を余儀なくされた場合には、周囲の状況を把握しレコードラインを避けるなど、安全面の注意を払って走行すること。また車両を止める場合には、マシンが動いている間にグリーン上の安全な位置まで進み、コース上に車両が止まることのないようにすること。
- ②白煙やオイル漏れなど重大なマシントラブル等が発生した場合は、無理にピットまで戻ろうとせず、直ちにコース脇のグリーン奥へマシンを止めること。その際、コース脇での作業等は絶対に行わないこと。転倒車が出したオイルにより後続車が巻き込まれる重大事故が多発しているため、転倒車があれば、オイルが出ている可能性があることを十分認識して走行すること。
- ③公式予選・決勝レース以外は、東ショートコースを含めた規定外の場所を使用して、ピットインすることは一切禁止する。
違反した場合、再コースインは認めない。公式予選は当該周無効、当該ライダーはそれ以降の予選出走は不可とする。
決勝レースでは、当該周無効、2 周減算とする。
- ④決勝レース中、コース脇でストップしたライダーがエスケープロード等を使用してピットへ戻ることを希望する場合、オフィシャルの指示に従うこと。
- ⑤エスケープロードを使用してピットへ戻る場合、エスケープした地点から自ピットへ戻るまで自走してはならない。
なお、工具による修理も認められない。
- ⑥決勝中、コース内のエスケープロードを使用した場合、並びにピットレーン出口よりピットへ戻る場合には、当該周無効（ショートカットした周回はカウントされない。）とする。ただし、T16(最終シケイン 1)から最終コーナー付近で転倒した場合のみ、安全の為ピットロードへショートカットして自ピットで点検することを条件に罰則は科さない。
- ⑦ストップ位置に関わらず、コース脇で車両をプッシュする際は、必ずオフィシャルの指示を受けること。
※コース脇で車両を押して移動している場合、各ポストで **PUSH** ボードを提示する。
- ⑧決勝レース中にシケインのショートカットをしたことで優位になったと判断された場合は、ストップ&ゴーペナルティ、またはタイム加算が科される場合がある。

5.ピットストップについて

車両が燃料補給あるいはライダー交代のためにピットストップした時は、必ずエンジンを停止すること。燃料補給時には必ずライダー交代を行わなければならない。ライダー交代は、車両がピットレーン出口の白線を通過した時に完了とみなす。

6.セーフティーカーの運用について

①ライトが点滅した 2 台のセーフティーカーが 1 ポスト手前と 12.3 ポスト付近から同時にコース上に導入される。

この瞬間から、すべてのオブザベーションポストには SC ボードと黄旗が振動表示される。

②すべての競技車両は、セーフティーカーを先頭にして追い越すことなく一列縦隊に並ぶこと。

その際、隊列を維持することが困難となった場合や集団のスピードについて行けないライダーは後方に合図等をしてラインを外し後方の競技車両を先に行かせること。状況に応じて黒旗で対処する場合がある。

③競技監督によりセーフティーカーの呼び戻し指示が出されたら、セーフティーカーは次のセーフティーカーポストを通過後、ライトを消灯する。その後、一台は「T9（デグナーカーブ 2）」を通過後右側のセーフティーゾーンへ退避し、もう一台は「T18（最終コーナー）」より 4 輪ピットロードへ退避する。

同時に全てのオブザベーションポストで掲示されている黄旗と SC ボードは撤去され、この時点からレース状態に戻る。

7.赤旗時の対応について

①レース再開は、次の 3 つのケースに分けられる。（以下ケース A・B・C と呼ぶ）

【ケース A】

トップおよびトップと同じ周回を走っていた残りの競技車両が 3 周末満の場合、当該レースは無効となり、全く新たなレースとして再開する。

【ケース B】

トップ及びトップと同じ周回を走行していた残りの車両が 3 周以上（3 周を含む）を完走し、決勝レース時間が 2/3 時間未満の場合は、第 2 レースとして行う。第 2 レースのスターティングポジションは、トップ及びトップと同じ周回を走っていた残りの競技車両が赤旗を提示されずにコントロールラインを通過した週の通過順とし、スタート ライダーは自由とする。レースの最終結果は複数のレース周回数を合算し、最大数を周回したチームが優勝 チームとなる。周回数が同数の場合、最終レースの結果が優先される。

【ケース C】

決勝レース時間が 2/3 時間以上走行していた場合は、レースは成立したものとする。順位はトップ及びトップと同じ周回を走っていた残りの競技車両が赤旗を提示されずにコントロールラインを通過した週の通過順とする。

②再レースのスタートもル・マン方式を用いるが、天候、その他の状況により変更する場合がある。

③サイティングラップからスタート手順が開始される。（5 分後にピット出口は閉鎖される）

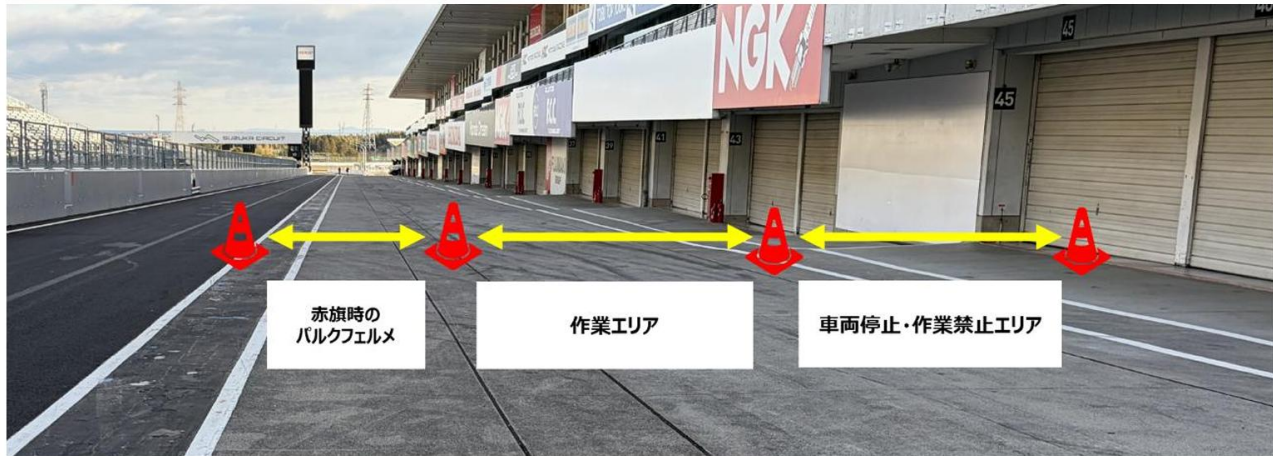
④車両を押してグリッドに移動することは認められず、サイティングラップに参加できないライダーはピットスタートとする。

⑤スターティンググリッドについたことが確認された段階で「スタート 1 分前ボード」が提示される。

⑥以降、通常のスタート手順とする。

8. 競技の中断（赤旗時の対応について）

①「7.赤旗時の対応について」①に基づき、ケース B、及びケース C の場合のみ、以下のエリアをパークフェルメとして車両保管を行う。



- ②ピット前で作業中の車両は作業を直ちに中断すること。
- ③走行中、ピット作業中に関わらず、全ての車両が自己ピット前のパークフェルメへ誘導される。
車両を動かすことができない状態の場合は、オフィシャルに報告すること。
- ④オフィシャルの指示が出たら、1 名のメカニックはスタンド等で車両を保持すること。その他の作業もオフィシャルの指示があるまで一切行うことができない。
- ⑤スタンド掛け作業ののち、ライダーおよびメカニックはマシンから離れること。
- ⑥再開時間等がアナウンスされるのでパドック放送、モニターのテロップに注意すること。
- ⑦コントロールラインのフラッグ台（OP）及びスタートラインのフラッグ台（0.5P）のグリーンフラッグ合図により作業を再開することができる。同時にサイティングラップからスタート手順が開始される。（5 分後にピット出口は閉鎖される）

9.ピット作業について

- ①ピット作業は、登録されたピット要員およびライダーが行わなければならない。
- ②燃料タンクの交換が必要な場合、車両には空の状態のタンクを取り付けなければならない。その後、通常の手順によって燃料補給を行うことができる。
- ③ピットレーンでは、先にファストレーンを走行している競技車両に優先権がある。
ピットアウト時は、ピットインしてくる車両に十分注意すること。
- ④予選中及び決勝レース時のコンディション変更に伴い、使用しているタイヤの交換が認められる。
作業時は必ずエンジンを停止して行うこと。電動及びエア工具の使用は禁止する。
- ⑤各チームは作業に直接携わっているピットクルー以外はオフィシャルが競技車両周辺を巡視できるだけのスペースを確保しなければならない。

10.給油作業について

- ①ピット作業を終えた後の燃料補給作業に備え、ピット作業を行っている間に許可された人数の補給作業要員が車両に触れないことを条件に車両に接近してスタンバイすることができる。
- ②燃料補給中は、燃料補給以外の作業は一切禁止される。（スクリーン清掃・ホイールのマーク合わせ等も含む）
- ③燃料補給は車両が安全にスタンドで支持された状況下で行わなければならない。（スタンドの構造・支持方法は問わない。）
- ④燃料補給中ライダーは、競技車両に乗車してはならない。
- ⑤燃料補給時、補給作業に携わる全員は目の保護具を含め、適切な防火服を着用しなければならない。
（フルフェイスヘルメットを着用する場合は、必ずシールドを閉めること。）

- ⑥ 燃料補給時、消火器待機要員は消火器の安全ピンを抜き、ノズルを車両側に向けて待機すること。
作業終了後は安全ピンを戻すこと。
- ⑦ ライダースーツによる燃料補給作業は行えない。

11. レース終了・その他

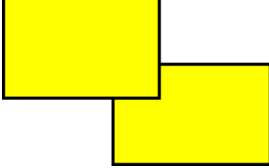
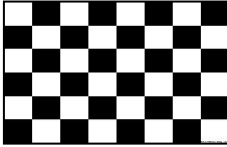
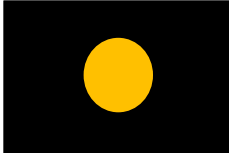
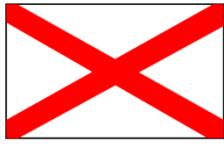
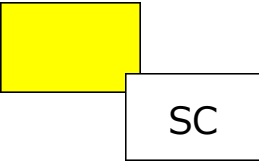
- ① レース終了時刻は 16 : 00 とする。
- ② チェッカーが振られると同時にピット出口は閉鎖され、これ以降のコースインは出来ない。
順位認定はチェッカーを受けた者が優先される。チェッカーが振られている周にピットイン及びピット内、コース上にストップしている車両はこれらのグループの後になる。チェッカーフラッグは 5 分間表示される。
- ③ 総合 1～3 位、ナショナルアワードクラス 1～3 位の選手はポディウムにて表彰を実施する。ペアライダーも出席すること。
- ④ レース終了後各クラス 1 位～6 位までの車両は暫定結果発表後 30 分以上保管され、必要に応じて検査される。
この検査を拒否する事はできない。
- ⑤ 脳震盪について
脳震盪は頭部への直接または間接的な衝撃によって起こる脳機能障害であり、特に短期間に二度の脳震盪を起こすことは非常に重大な障害をもたらす恐れがある。また、症状を抱えたまま走行することは他ライダーに危険を及ぼす恐れがあることから脳震盪が疑われる場合、医療機関で受診すること。

12. 使用燃料について

- ① 使用する燃料はサーキット内で供給されるものを使用しなければならない。
- ② 前回使用したガソリンが混ざることのないよう注意すること。

・参考資料

フラッグ/ライトパネルについて

	【黄旗 1 本】 振動表示 表示ポスト前方でトラブルが発生。 減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。		【黄旗 2 本】 振動表示 表示ポスト前方コース上にトラブルが発生。 減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。
	【赤旗】 走行中断。減速し、ピットに戻らなければならない。		【オイル旗】 コース上が滑りやすい状態の時、提示される。（オイル漏れ、落下物なども含む。）
	【チェッカー】 走行終了。速度を落とし、その周でピットインをすること。 先頭でチェッカーを受けた車両が通過するタイミングでコントロールラインのフラッグ台(OP)及びインフォメーションパネル(スタートライン上)の計 2 箇所でチェッカーを提示。 ダブルチェッカー防止のため、ストレート走行中でも必ずフラッグ台を確認し、見落とさないこと。 ※チェッカーフラッグ提示後、各ポストで黄旗が静止表示される。	 	【オレンジボール+ゼッケンボード】 ピットまで戻らず速やかにコースアウトし、最寄りの安全な場所に車両を止めること。 ※大量のオイル漏れ等、危険を及ぼす恐れのある競技車両が発見された場合、即当該ライダーに警告するため、旗のみ表示を行う場合がある。
	【白旗】 救急車等の介入車両があり、この介入車両を追い越すまで他のライダーを追い越す事は禁止される。		【黒旗+ゼッケンボード】 当該車両は直ちにピットに戻り、オフィシャルの指示を受けること。
	【青旗】※フラッグのみ提示 後方よりペースの速い車両が接近し、追い越される場合に振動表示にて提示される。 決勝レース時、コントロールラインのフラッグ台(OP)にて、チェッカー旗と同時に提示された場合、トップのライダーにはレース終了を伝え、トップの直前を走行しているライダーにはもう 1 周する事を伝える。		【レッドクロス】 コース上の表示ポスト付近において、雨が降り始めたことを示す。 この雨が路面状況に影響を及ぼしている可能性がある。
	【セーフティーカー】 セーフティーカー介入によるレースの非競技化（注意原則・追い越し禁止）。指示された車両以外セーフティーカーの追い越し禁止。		

